

都市計画変更素案（複数案） 及び特例環境配慮書のあらまし

東京都市計画道路幹線街路環状第4号線
(港区港南三丁目～同区白金台三丁目間)

平成29年3月



計画のあらまし

東京都市計画道路幹線街路環状第4号線（以下、「環状第4号線」という。）は、港区高輪三丁目から江東区新砂三丁目に至る延長約28.8kmの都市計画道路であり、都市の骨格を形成する区部環状方向の幹線道路の一つとして放射方向の幹線道路と連絡し、都心に集中する交通を分散するなど重要な役割を担っています。

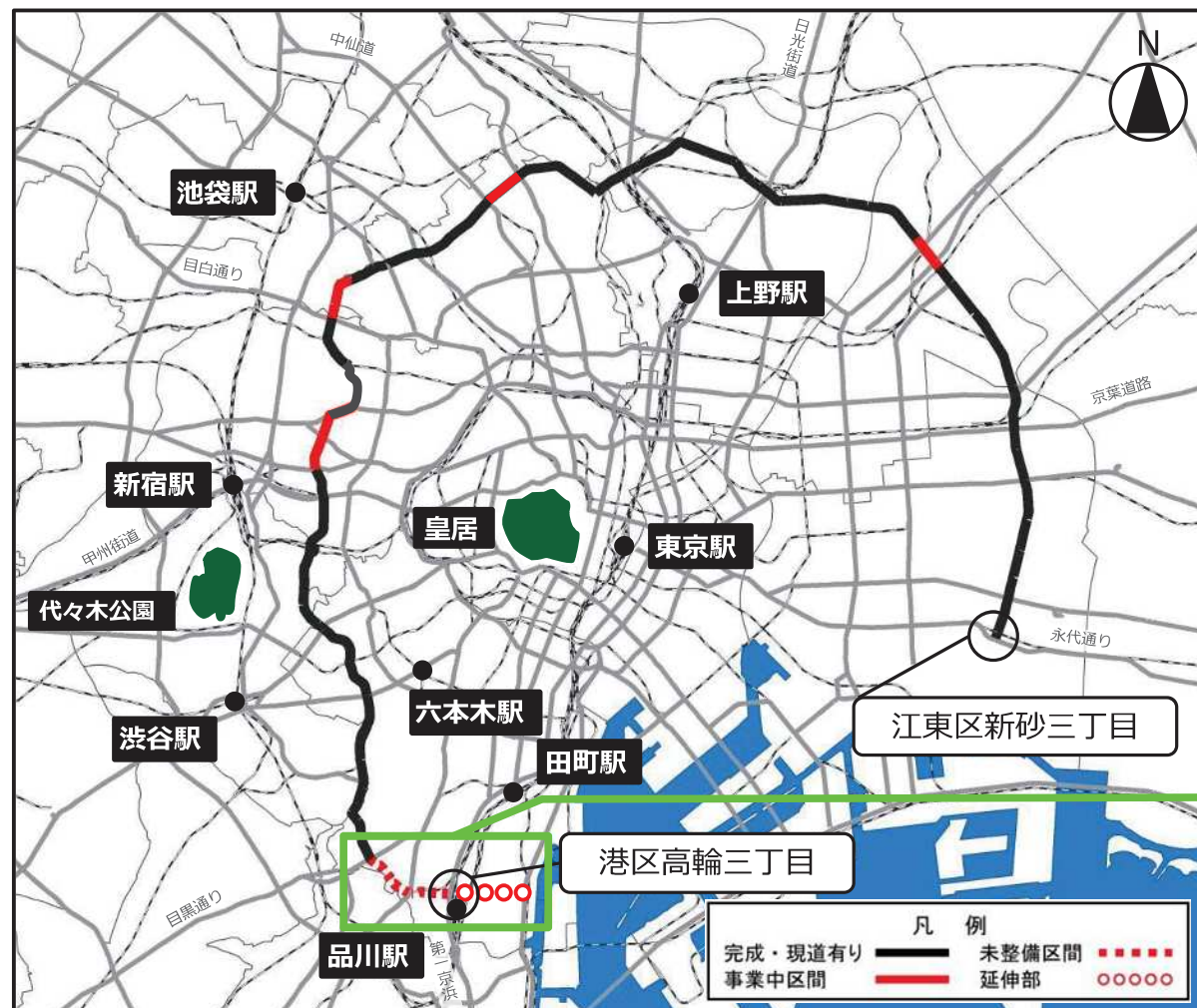
また、品川駅周辺地区は、本格的に国際化が進む羽田空港と近接し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や2027年のリニア中央新幹線の開業（予定）も見据え、更なる拠点性の強化が期待されています。

このため、東京都は、平成26年9月に「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」を策定し、その中で拠点性を高める道路ネットワークの1つとして、環状第4号線を整備・延伸することとしました。

今回、環状第4号線のうち、唯一現道がなく未整備となっている目黒通りから第一京浜までの区間について、海岸通りまで延伸するとともに、車線数を4車線に決定する等の都市計画変更素案を取りまとめました。

このうち、目黒通りから旧海岸通りまでの区間（以下、「事業予定区間」という。）については、事業化を予定しており、本事業が環境に与える影響を予測評価する環境影響評価を行いました。

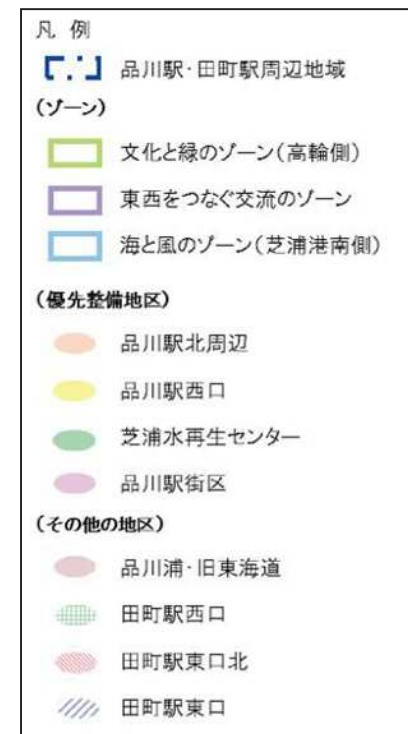
■ 環状第4号線の全体図



■ 品川駅・田町駅周辺のまちづくり

品川駅・田町駅周辺地域は、「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」とする将来像を掲げ、地区別に将来イメージを設定しています。

環状第4号線は、地域内外とのビジネス、観光などの多様な交流を促進させる架け橋（東西交流軸）として重要な役割を担います。



資料) 品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014 (一部抜粋)

■ 位置図

